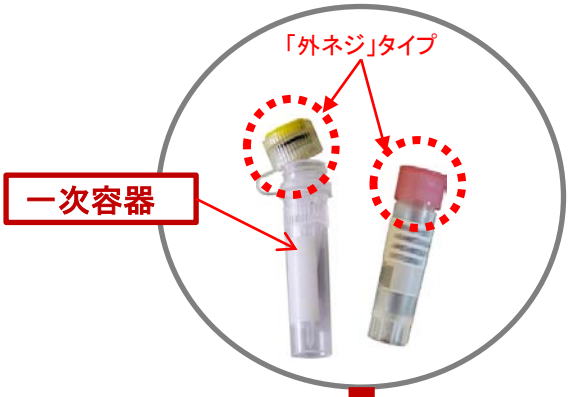
「カテゴリーA」でインフルエンザ A(H1N1)pdm ウイルス株を送付する際の梱包について

基本三重梱包の手法

輸送時に、**国連規格容器を用いた三重梱包** ＜包装→マーキングと宛名→ラベル貼付→書類等作成＞を行えば国内航空輸送が可能です。危険物扱いになりますので、必ず事前に航空会社**貨物カウンター**に希望の便への搭載予定を連絡して下さい。

＊輸送費用の感染研着払いを求める場合は、４種特定病原体の要件（国連容器を用いた三重梱包）を満たした上で、ゆうパック（陸送のみ）で発送することが可能です。（平成21年９月１日現在）



一次容器は、以下の要件を備えていること

・「外ネジ」タイプのチューブ　・防水性　・密閉性

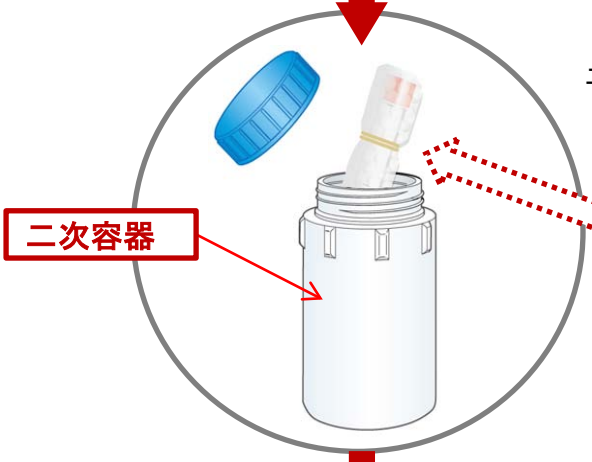
※内ネジのチューブは、ネジ筋に沿ってリークが起こる可能性があるため外ネジタイプを使用。

・「輸送している病原体の必要な情報」が記載されたラベルを貼付

記載項目および記載例

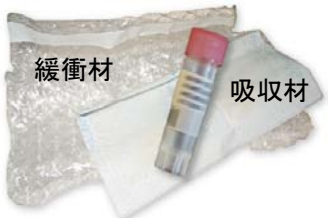
・分離株　ID/番号
・分離株名
・亜型と継代歴（細胞名、継代数）

例：
eiken 1234
A/NIPPON/1/2009
AH1pdm　MDCK 1



二次容器は、一次容器の保護の為に以下の要件を備えていること

・耐久性　・防水性　・密閉性



二次容器の中には、液体全部を吸収するために十分量の吸収材を入れ、緩衝材で包んだ一次容器を入れる。

カテゴリーAラベル

容器型式　製造年

4GU / CLASS 6.2 / 07
NZ / CAA 43582

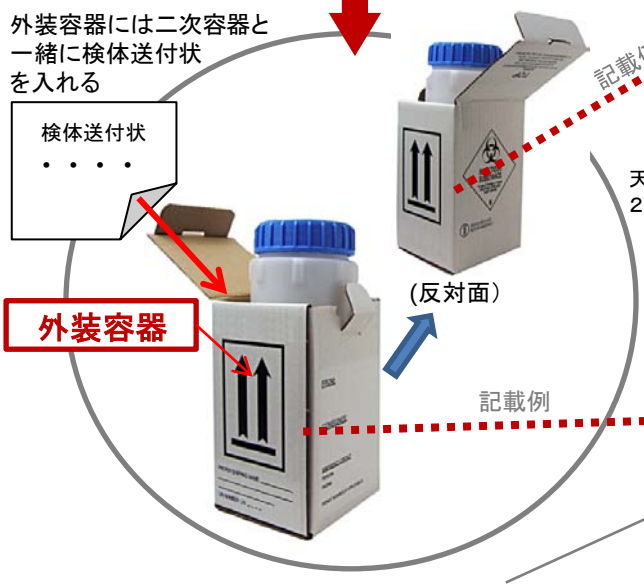
製造者の番号

容器の規格を確認した国

カテゴリA（class6.2)用の国連規格の検査を通った印

外装容器には二次容器と一緒に検体送付状を入れる

検体送付状
・・・・



天地ラベルは相対する２側面へ貼付

FROM
送り主の住所・氏名

CONSIGNEE
受取人の住所・氏名

EMERGENCY CONTACT PERSON：緊急時連絡先の氏名
PHONE：24時間対応可能なTEL

PERMIT NUMBER（IF APPLICABLE）
（国内便は記入不要）

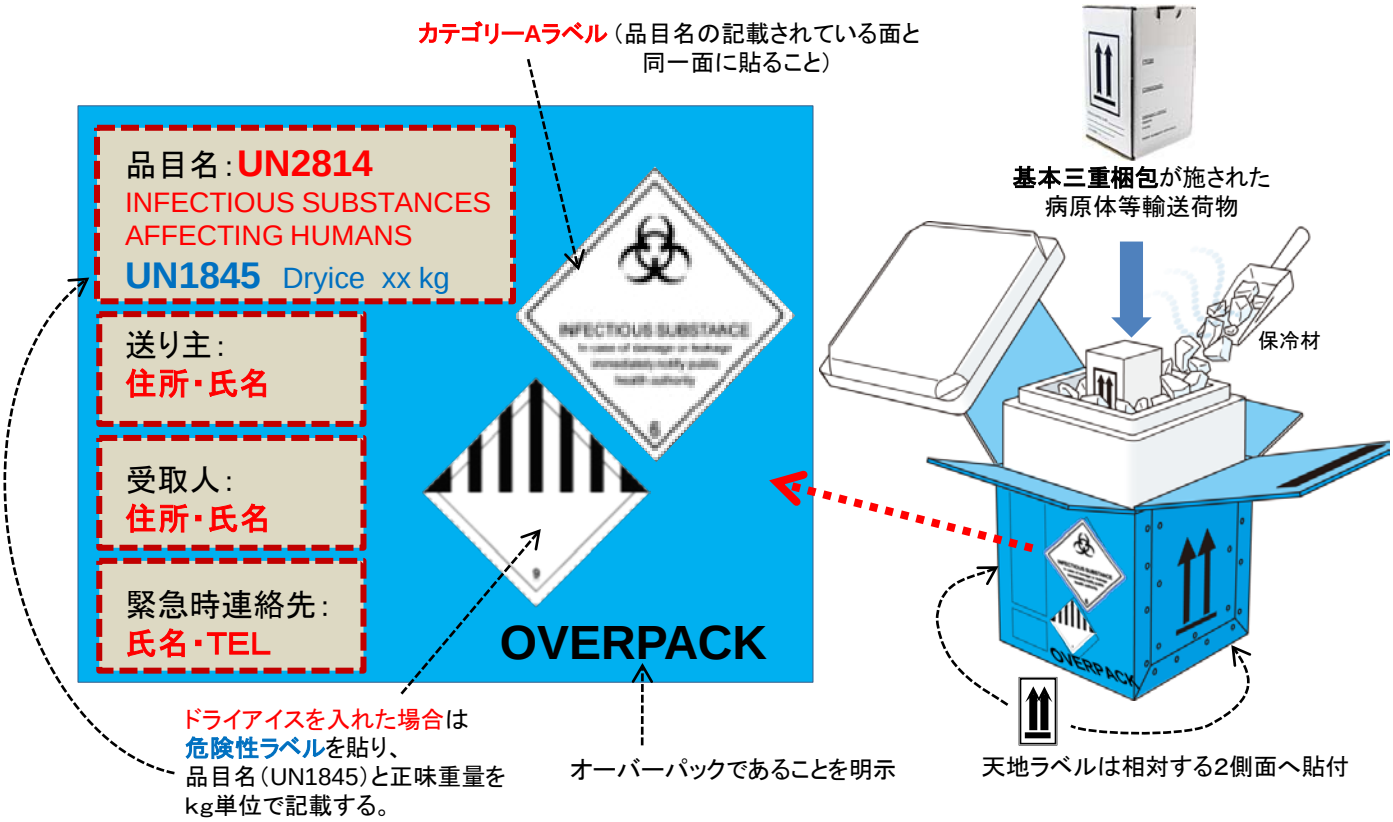
PROPER SHIPPING NAME（品名）
INFECTIOUS SUBSTANCES AFFECTING HUMANS

UN NUMBER：UN **2814**

オーバーパックへ

オーバーパック使用時の注意

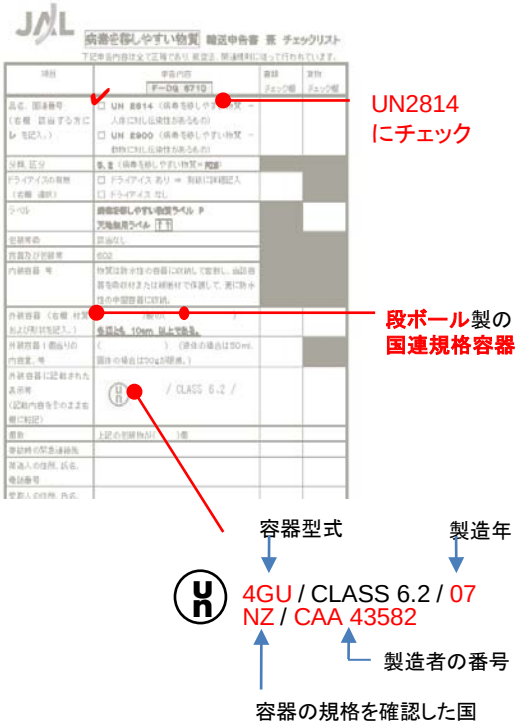
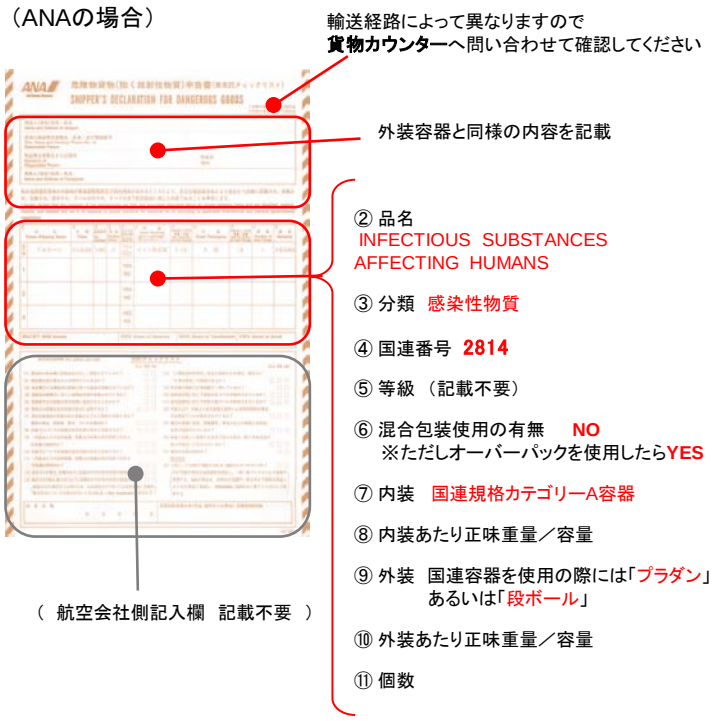
◆ オーバーパック表書の必要記載と貼付ラベル（例）



危険物申請書 記入例

下記の項目については以下（赤文字）に記入例を示します。個別の事例で異なる場合には、事前にそれぞれの航空会社貨物カウンターへご相談ください。（※ドライアイスについての記載場所は航空会社で異なりますので、ご注意ください）

（JALの場合）



（ANAの場合）